

第1回エコラーニングツアー

～若狭湾でのSUP体験を通して海洋ごみ問題について考えよう～

【開催日】

2025年8月19日(火)

【会場】

・SUP体験

矢代海水浴場 (福井県小浜市矢代)

・海洋ごみに関するワークショップ

矢代漁港、Nomichi Port Yashiro(福井県小浜市矢代)



SUP体験【協力事業者: SUP Village Yashiro】

若狭湾でSUP体験を行いました。参加者は海の美しさを肌で感じ、船でしか行けない浜にも立ち寄りました。浜では、漂着している海洋ごみの現状を確認し、海流の影響で日本だけでなく海外からのごみも多く流れ着いていることに気づきました。その後、ビーチクリーン活動を実施しました。



海ごみに関するワークショップその1【協力事業者: 株式会社ソリッドラボ】

矢代地区では、これまで埋立処分されていた海洋プラスチックごみを、粉碎機の導入により分別・洗浄し、チップ化して資源として活用しています。参加者は、その工程を見学し、リサイクルの仕組みについて学びました。見学後には、プラスチックごみを使ってカラビナを製作する体験も行いました。



海ごみに関するワークショップその2【協力事業者: 株式会社ごみの学校】

「リサイクルマスター」というカードゲームを体験しました。ゲームを通じて、ごみの分別や種類に応じたリサイクル方法を学べるだけでなく、グループで意見を交換し、参加者同士の交流を深めることができました。



【参加者の感想】

- ・海洋ごみが問題になっていることは知っていましたが、その実態(負のサイクルや輸出の問題など)については今回初めて知ることができました。また、SUPやビーチクリーンを実際に体験したことで、記憶に残る貴重な経験となりました。
- ・「脱プラスチック」という言葉が過剰に使われていた時期、私は「プラスチック＝悪」という考え方に強い疑問を持っていました。今日の話聞き、プラスチックは生活に必要なものであることを再確認しました。海洋プラスチック問題に限らず、何事もメリットやデメリットを意識し、上手に付き合っていくことが大切だと気付きました。
- ・海ごみになり得るものが想像以上に身近にあり、些細なごみでも分別して捨てる必要があると改めて感じました。私のアルバイト先や学校でごみの分別がうまくできていないので、これを機に、自分にできることに取り組んでみようと思いました。